

# 平成30年度 事務事業マネジメントシート

事業名	子どもの遊び場維持管理事業			会計	款	項目	大事	小事
政策	O4	4節	誰もが充実した生涯をおくることのできる流山（市民福祉の充実）	主管課	子ども家庭課			
施策	4-1	安心して子どもが健やかに生まれ育つ環境づくり		主管課長	熊井 彰			

## I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	地域で遊ぶ子ども	意図	子どもが元気にのびのび遊ぶことのできる環づくり
事業内容	市内に7カ所ある子どもの遊び場の維持管理			
事業開始から現在までの状況変化	昭和37年から昭和61年まで15カ所、平成元年から平成15年まで5カ所、合計20カ所設置。 公園が整備されてきたことや、土地開発や相続等の理由により廃止し、平成30年は6カ所となっている。			

## II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成28年度	平成29年度	平成30年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）
	①	設置個所数	8	7	6	カ所	→→
②							
③							
④							
⑤							
⑥							

指標で表すことができない定性的な成果

目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況）

事務事業のコスト	平成28年度	平成29年度	平成30年度
事務事業の総コスト(a=b+c)	2,124,357	2,158,698	2,286,438
事業費(b)(円)	751,357	816,298	968,038
うち一般財源	751,357	816,298	968,038
職員給与費(c)(円)	1,373,000	1,342,400	1,318,400
人役・職員(人)	0.20	0.20	0.20
人役・再任用(人)			
人役・臨職(人)			
人役・嘱託(人)			
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）			
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）			

## III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

### (1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	B 必要性は変わらない	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	A 市が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	II 継続（事業を現状どおり継続すべき）					

### (2) 事務事業の業務改善について

①H30当初の改善計画(Plan)	子どもたちが安全に遊べる環境を整え、維持していく。	③取組における課題(Check)	事故や怪我が無いよう、遊具や樹木等適切に管理していく。
②H30に実施した取組(Do)	<ul style="list-style-type: none"> <li>遊具の安全点検・修理</li> <li>樹木の剪定</li> </ul>	④課題に対する今後(H31～)の改善計画(Action)	子どもの遊び場について、適切に管理できるよう自治会と連携していく。